

令和2年度 長野県障がい者社会参加推進センター 事業実績

実施事業等	実施内容
<p>○障がい者社会参加推進協議会</p>	<p>1 令和2年7月21日(火) 場所：県社会福祉総合センター会議室 ○令和元年度事業報告 ○令和2年度事業計画 ・障がい者福祉団体地域連絡会議について ・知事との懇談会について</p> <p>2 令和2年9月24日(木) 場所：県社会福祉総合センター会議室 ○障がい者福祉団体地域連絡会議について ○知事との懇談会について ○障がい者共生社会づくりについての意見交換 ○信州あいサポート推進事業について 〔 県信州あいサポート推進員を講師に迎え、 事業推進についての研修及び意見交換 〕</p> <p>3 令和2年12月3日(木) 場所：県社会福祉総合センター会議室 ○知事との懇談会の要望内容について ( 要望事項の確認と確定 ) ○知事の懇談会の開催日程について ○障がい者福祉団体地域連絡協議会結果について ○事務所移転について</p> <p>4 令和3年2月2日(火) 場所：長野県庁議会棟会議室 ○知事との懇談会 15:00から</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>新型コロナウイルスの感染が拡大し、1月14日に全県に「医療表情事態宣言(2月3日まで)発出されたことから、1月19日に開催中止を決定した。</p> <p>○障がい6団体からの知事要望書 令和3年2月2日付けの要望書を県に郵送提出</p>

(要望内容)

- ・実効性のある差別解消のための条例の早期制定
- ・災害時、移動困難な障がい者の移動回数を軽減するため、一般避難所設営時に福祉避難所を同時設営し、即時利用できるよう改善
- ・社会福祉総合センター（仮称）の再建を希望
- ・具体的に対応した行政施策は、実施セクションだけに留めることなく、県組織全体の共通認識として共有できる仕組みの構築
- ・福祉のまちづくりに障がい者の意見が反映されるとともに、施設の供用開始の情報は、事前に、速やかな障がい者団体への提供
- ・県として移動困難のある障がい者に対して、新たな助成金制度を設ける
- ・手話通訳者等の高齢化に対応し、今後の支援体制の継続、確保のための緊急事業を実施するため、長野県聴覚障がい者情報センターに職員を1名加配
- ・長野県聴覚障がい者情報センターの映像編集機器を更新
- ・コロナ禍に対応していくため、Zoom、ネット電話等の使い方の指導等の研修会などの対応
- ・外出自粛対応について
- ・生まれ育つ地域の中で、障がいがあってもなくても、ともに暮らし学び遊びふれあうことが当たり前の暮らしになる学齢期の教育実現
- ・精神障がい者への支援の在り方について

○県知事から令和3年2月8日付けの「要望への回答書」が、郵送で届く。

障がい6団体には、メールにより回答書を周知

5 令和3年2月9日（火）

場所：県社会福祉総合センター会議室



新型コロナウイルスの感染が拡大していることから開催を中止し、書面会議とした。

○知事要望の県の回答書

○障がい者福祉団体地域協議会の発言・回答要旨

	<p>を郵送し、</p> <p>障がい者社会参加推進協議会の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度の反省</li> <li>・ 令和3年度に向けた要望 の提出を求めた。</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">➡ 特別な反省、要望はありませんでした。</p> <p>※ 知事への要望書 知事からの回答書 は、別添のとおりです。</p>
<p>○障がい者福祉団体地域連絡会議</p>	<p>長きにわたって私たち障がい者の切なる要望である、差別解消のための条例が制定されます。</p> <p>この条例を真に実効性のあるものにするために、「障害者差別解消法」の周知、啓発が徹底されていない現状を見極め、障がい者が一丸となって取り組んでいく必要があります。</p> <p>そのために、条例制定の現状と「差別解消法」についての具体的事例等を学習していくとともに、当面する諸課題について協議するため、障がい者福祉団体代表者による地域連絡会議を開催しました。</p> <p>(開催日時・場所等)</p> <p>1 令和2年11月10日(火)</p> <p>場所：伊那市 伊那市福祉まちづくりセンター (講師)</p> <p>長野県健康福祉部障がい者支援課 課長補佐(共生社会づくり担当) 古海 淳 氏 長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者差別解消推進員 依田 哲郎 氏</p> <p>2 令和2年11月12日(木)</p> <p>場所：佐久市 佐久平交流センター (講師)</p> <p>長野県健康福祉部障がい者支援課 課長補佐(共生社会づくり担当) 古海 淳 氏 長野県健康福祉部障がい者支援課 障がい者差別解消推進員 依田 哲郎 氏</p>

	<p>3 令和2年11月17日(火)  場所：松本市 松本市総合福祉センター  (講師)  長野県健康福祉部障がい者支援課  課長補佐(共生社会づくり担当) 古海 淳 氏  長野県健康福祉部障がい者支援課  障がい者差別解消推進員 依田 哲郎 氏</p> <p>4 令和2年11月19日(木)  場所：長野市 長野県社会福総合センター  (講師)  長野県健康福祉部障がい者支援課  課長補佐(共生社会づくり担当) 古海 淳 氏  長野県健康福祉部障がい者支援課  障がい者差別解消推進員 依田 哲郎 氏</p> <p>※ 4地区会議での参加者からの質問・発言要旨は、別紙のとおりです。</p>
<p>○第35回障害者による書道・写真全国コンテスト</p>	<p>全国障害者総合福祉センターが実施する「第35回障害者による書道・写真全国コンテスト」の障がい者への周知及び募集を行った。</p> <p>〔長野県からの依頼を受け、長野県内の応募作品の取りまとめや、作品の送付等の業務を、「長野県障がい者社会参加推進センター」が実施しました。〕</p> <p>1 応募周知通知 令和2年9月10日  2 応募期限 令和2年10月20日  コンテスト事務局の新型コロナウイルスの感染対策により、例年に比べ約1か月遅れの募集となった。  3 長野県応募数  写真：3作品、携帯フォト：なし、書道：1作品  全国応募数  写真：159作品、携帯フォト：66、書道：821作品</p>

	<p>4 審査結果（長野県） 写真部門 金賞1名、銀賞2名 （全国 金賞10名、銀賞10名）</p> <p>5 全国障害者総合福祉センターが年4回発行している機関紙「戸山サンライズ 2021年冬号」の表紙写真に、長野県から応募した次の作品が採用されました。</p> <p>写真部門 金賞 「サンピラー」 応募者 長野県 金 森 悦 三</p> <p>※「第35回障害者による書道・写真全国コンテスト」 応募一覧・審査結果、及び、機関紙「戸山サンライズ 2021年冬号」の掲載状況は、別紙のとおりです。</p>
--	--